

【 熊本研修日記 = 初日 2022.11.19 】

作：津久見支部副支部長

19日朝9:00小雨の中、参加者9名は1号車、2号車で目的地の益城町に向け出発。

到着時間は14:00に建築士会熊本支部の方と合流予定。

出発して90分竹田市を通過、阿蘇市に入り予定通り57号線を走行。

いつしか車は離れ1号車は北側復旧道路へ2号車は新阿蘇大橋経由で大津へ向け走行。

昼食場所に先に着いた1号車より連絡「2号車=今どこなん?どこ走ってるん?」

「なんで付いてこんの=そっちを通るんなら、はよう言わんか」(激論)・・・遅れる事5分で到着

両方の道が57線なので、両車とも予定の道を間違いなく走行していたのだ。

昼食はジョイフル日替わり定食のドリンク付きとプチ贅沢。(大津に来たのに大分の味)

時刻は12:30分、早々に昼食を済ませ雨上がりの大津を12:50分出発。

交通量も増えナビの到着時間をチェックしながら13:50分到着。すっかり雨はやんでいた。

出迎えてくれた方は現場案内(お世話)して頂く、熊本支部の廣田清隆さま、田口紅音さま。

そして、昨年度まで支部会員であった八代市出身の福岡さんも駆けつけてくれた。

平均年齢60代の支部会員、笑顔の素敵な福岡さんはヘルパー役の「**介助会員**(笑)」として同行。

支部10名となり、初日の見学物件へ徒歩15分カルガモ移動の様に案内人に続く。



物件は木造平屋建て住宅の瓦葺き土壁造り新築、引っ越し中であった。

中で待つて居てくれたのは、家主さんと説明をして頂く設計者の古川保さまでした。

事前の資料を手に、「くまもと型伝統構法住宅」再建プラン（人吉球磨版・やっちろ版）について

建物構造・断熱・換気・意匠・設備等の説明を聴きながら質疑 90 分。



基礎：石場立て（鉄筋コンクリート立ち上り無し）梁を入れた足固め工法（東建て）

外壁：土壁（外部板張り、内部しっくい塗り、一部板張り）

屋根：切妻型の瓦葺き、軒裏化粧垂木と化粧板で軒の出が 1.0m以上

内壁：しっくい塗り、板張り 浴室は桧板張り

天井：板張り 船底天井、小屋組材化粧

建具：内外とも木製（外部は複層ガラスではなく、二重建具）

材料：地場の木材（熊本芦北山の産直材）使用部材寸法が大きいのが特徴

構造：土壁と板張りの耐力壁 込み栓使用、耐震：くまもと型設計法計算にて許可を得ている

耐力壁は精密診断の感じで壁量算出して「木造限界耐力計算Y方向」で強度計算を行っている



私たちの知っている基準「24時間換気扇」「基礎との連結」「断熱」等は気候風土適応住宅版による

評価方法で対応しており各所に工夫が見られ、維持管理まで考慮した設計、施工が行われていた。

大分県でも今、準備検討中との説明もあり楽しみです。（難しいので解説が違うところは、お詫びします）

「くまもと型伝統構法住宅」の視察感想意見会のため一度ホテルへ移動する。

夕食の会場はホテルから徒歩5分、あみだくじの様に右へ左へと2列に並び、またもカルガモ移動。

迷子です、着いた先は一度曲がった分かりやすい徒歩3分の馬肉料理のお店でした。

会場は雑居ビルの4階、収容人員20名、従業員4名、非常階段閉鎖、EV5人乗り、1・2階に厨房

排煙窓は廊下に1ヶ所、火災時は多分アウトとかな？

狭い部屋に10名、店のスタッフが来たら「姉さんビール」でスタート。



【 アクリル板に写る会員は誰・・・11名だ 】

コロナ対策はワクチン接種菌で防衛しながら飲む事。（間違ってますが）

時は過ぎ、メニューは字が小さく見えなので呼び鈴を押す。来たスタッフに「姉ちゃん」と呼ぶ、

馬肉を見て「これなんかえ」「酒があんのか」「冷でくれん」と津久見弁で注文。

店のスタッフは「酒と冷」で分かったのか運んで来た。（さすがです）

記念撮影も忘れずパシャリ、大賑わいで終了。

駆けつけてくれた「**介助会員**」の福岡さんも楽しげに居てくれ、遅れましたが送別会を兼ねました。

一度ホテルに帰り（迷子防止のため）以降は自由行動で朝食まで～初日の予定は終了です。

=== 二日目に続く ===